

若松公園テニスコートを「人工芝のオムニコート」に改修することを求める陳情

[陳情の主旨]

現在、若松公園にはコンクリートのテニスコートが2面設けられております。
このコンクリートコートを「人工芝のオムニコート」に改修して下さることを求めて陳情致します。

[陳情内容の詳記]

船橋市は、昭和58年(1983年)10月10日に「スポーツ健康都市宣言」を行っております。
この宣言の意図は、「スポーツの普及振興及び市民の健康増進」に資することを目的としております。
昭和58年の船橋市の常住人口は500,028人、令和5年5月1日の住民基本台帳人口は648,117人で、両人口の差異は、約1.3倍となっております。

当然のことではありますが、総人口の増加に伴ってスポーツを行う人口、取り分けテニスを行う人口は顕著に増えております。

この人口増加に伴い、テニスを行なう市民が大幅に増えたことから、コートの利用確保が極めて困難な状況となっております。

船橋市は、「住みやすい街」と報道されるなど徐々に人口が増加しております。

テニスは、プレー費用が安くコート確保さえ出来れば容易に出来るスポーツであります。

主婦層を始めとして高齢者層にとっては格好のスポーツとなっております。

高齢者の健康維持と医療費削減の見地からも大いに奨励されるべきスポーツであります。

ところで、若松公園にテニスコートが敷設されたのは昭和56年6月となっております。

このコートはコンクリート製のコートで、プレーヤーの膝などに与える衝撃が激しいコートです。

また、少しでも雨が降るとコート面が滑り、転倒など怪我を起こす危険が高いコートです。

このことから、一般の利用率が低だけでなく、取り分け高齢者の利用には危ないと敬遠されているコートです。

船橋市は、行財政改革を推進遂行しており、その一環として「既存の施設の有効活用」も掲げております。

船橋市は、スポーツ健康都市宣言を行って、今年40周年を迎えます。

既存の施設の有効活用の見地から、若松公園のテニスコートをコンクリートコートから「人工芝のオムニコート」に改修して下さるよう陳情致します。